

家政学原論部会沿革

- 1968 (昭和 43) 家政学原論研究会設立。10 月第 1 回シンポジウム (文化女子大)。
- 1969 (昭和 44) 3 月 1 日「家政学原論研究会会報」No.1 発行。10 月第 1 回総会。
- 1970 (昭和 45) 国際家政学会・日本家政学会の要請により、家政学の定義などを示す Information Sheet 案作成。夏期セミナー開催 (以後毎年)。
- 1979 (昭和 54) 家政学原論研究会 10 周年記念・会報特別号発行。家政学原論部会となる。
- 1981 (昭和 56) 家政学原論の必修についての要望書を学会長に提出。
- 1983 (昭和 58) 会報への論文掲載開始。夏期セミナーに、研究発表が加わる。
- 1984 (昭和 59) 常見研究奨励賞設置。
- 1985 (昭和 60) 第 1 回常見研究奨励賞授与。
- 1986 (昭和 61) 5 月 4 日「家政学原論を考える」シンポジウム (岡山大)。
- 1987 (昭和 62) 5 月 30 日シンポジウム「家政学を考える」(共立女子大)。
- 1988 (昭和 63) 5 月 30 日シンポジウム「家政学を考える」(日本女子大)。8 月部会設立 20 周年記念夏期セミナー、記念パーティー。『家政学原論論文集』(20 周年記念事業) 刊行。
- 1989 (平成元) 部会事務局を「お茶の水女子大学家政学部家庭経営学科内」から「日本女子大学農家生活研究所内」に移転。
- 1991 (平成 3) 8 月家政学原論部会・家庭経営学部会夏期合同セミナー (横浜国立大)。
- 1992 (平成 4) 部会事務局「共立女子大学家政学部家庭科教育研究室」に移転。
- 1995 (平成 7) 部会事務局「文教大学教育学部家庭経営学研究室」に移転。
- 1998 (平成 10) 6 月家政学原論部会 30 周年記念特別号 (『部会会報』No. 32) 刊行。8 月 30 周年記念セミナー、記念パーティー (東京家政学院大)。
- 1999 (平成 11) 8 月家政学原論部会・生活経営学部会・家族関係学部会・家庭経済学部会の 4 部会合同セミナー (大妻女子大)。
- 2002 (平成 14) 『家政学 未来への挑戦』(建帛社) 翻訳刊行。
- 2005 (平成 17) 8 月家政学原論部会・家政教育部会合同夏期セミナー (日本女子大)。
- 2006 (平成 18) 亀高学術出版賞設置。
- 2007 (平成 19) 第 1 回亀高学術出版賞授与。
- 2008 (平成 20) 部会設立 40 周年記念特集号 (『家政学原論研究』No. 42) 刊行。6 月ミニシンポジウム (日本女子大)。8 月 40 周年記念セミナー (日本女子大)。
- 2009 (平成 21) 部会事務局「共立女子大学家政学部家庭科教育研究室内」に移転。
- 2010 (平成 22) 5 月 (社) 日本家政学会第 62 回大会 家政学原論部会企画「すべての家政学者とともに考えるーラウンドテーブル :家政学原論の現在ー」開催 (広島大)。5 月「家政学原論部会規程」を「(社) 日本家政学会家政学原論部会規約」に改定。
- 2011 (平成 23) 5 月 (社) 日本家政学会第 63 回大会 家政学原論部会・家政教育部会合同企画「行動する家政学ー原論と家政教育の新機軸ー」開催 (和洋女子大学)。8 月 家政教育部会との合同シンポジウム「蓄積を活かすー家政学の社会貢献ー」開催 (共立女子大学)。

(『家政学原論部会会報』No. 20、 p. 19 (1986)、およびこれ以降の部会誌を参考に作成)